

獨協医学会

会 長 寺 野 彰 (獨協医科大学学長)

運営委員会委員

平田 幸一*	犬飼 敏彦**	秋山 一文	有阪 治	石光 俊彦
上田 善彦	内田 幸介	大竹 英樹	大平 修二	大類 方巳
小端 哲二	篠田 元扶	菅谷 仁	千種 雄一	中元 隆明
野上 謙一	服部 良之	濱口 眞輔	深澤 一雄	本田 幹彦

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

小端 哲二*	石光 俊彦**	上田 善彦	内田 幸介
大竹 英樹	大類 方巳	菅谷 仁	千種 雄一
中元 隆明	深澤 一雄	本田 幹彦	

*委員長 **副委員長

編集事務員

鯉沼 行子

編 集 後 記

DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES・獨協医学会雑誌、32巻第2号をお届けいたします。小生が編集を行わせていただいて、7年経ち、最後の編集号ということになりました。この間いろいろなことがありましたが、なんとかここまでやってこられたのも皆様のお陰と感謝しております。

小生が行ってきたことは、うまくいったことも、うまくいかなかったこともあったというのが、あたりまえなのですが、結論です。まず26巻第1号から英文誌と和文誌を合併したことにはじまります。さらに雑誌のサイズもA4となり体裁も変更いたしました。随分読みやすくなった、きれいになったとの感想を頂戴いたしました。これに引き続きThesisの掲載の開始、また3年前より特集号を創設したことについては一定のご評価を頂戴したと思っております。

一方で、これはいいことでもあるのですが関係者のご努力

により、本学の研究レベルが上昇し研究成果が著明雑誌、高インパクトファクター雑誌への投稿指向が非常に強くなり、学術誌としての本誌の評価は次第に低下していったという厳しい事実がありました。本誌のように専門性がなく、配布先も限られた雑誌は、最近すべて投稿数が減少しているというお話もよく耳にしますが、この問題は本誌の未来を考えるうえでなんらかの解決がえられないなりません。これに関連して、本誌と他誌との2重投稿の容認とそれに伴う本誌の学内紀要誌化を行い、同時に投稿のハードルを下げようという議論がありましたが、結論は得られず、投稿数の減少問題とともに次期編集委員長に期待する次第です。

長い間本誌にご理解とご協力皆様に改めて感謝し、ここに編集の責を終えたいと思います。

(平田幸一)

2005年7月20日印刷

第32巻 第2号

2005年7月25日発行

編集発行人

獨協医学会

寺 野

彰

発行所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地

獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

製 作

教 文 堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136